



〔カーバム剤〕 ヤシマNCS 有効成分：N-メチルジチオカルバミン酸アンモニウム (P.R.T.R・1種 433)……………50.0%	登録番号	第19249号
	性状	淡黄色澄明水溶性液体
	魚毒性	A類相当
	危険物	—
	有効年限	3年
	包装	1ℓ×10(紙パック、ポリ)

◎特徴 被害木の表面に散液し、1～2週間生分解性シート等で被覆する。低温でも容易にガス化して浸透し、林材部に穿孔したマツノマダラカミキリ老熟幼虫や、マツノザイセンチュウに100%の殺虫殺線虫効果を発揮します。

◎使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	くん蒸時間	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムを含む農薬の総使用回数
まつ (伐倒木)	貯木場 林内空地	マツノマダラカミキリ幼虫	被覆内容積1㎡当り 原液0.5ℓ	14日 以上	—	1回	加害された伐倒木を配置し 本剤を散布し、直ちにビニール 等で密閉し、くん蒸する。	1回
		マツノザイセンチュウ	被覆内容積1㎡当り 原液1.0ℓ	7日 以上				
すぎ (伐倒木)		スキカミキリ	被覆内容積1㎡当り 原液0.5～1.0ℓ	14日 以上				
		いぬまき (伐倒木)	ケブカトラカミキリ	被覆内容積1㎡当り 原液0.5ℓ				
被覆内容積1㎡当り 原液1.0ℓ	7日 以上							
かし (枯損木)	林地	カシノナガキクイムシ	被覆内容積1㎡当り 原液1.0ℓ	14日 以上	成虫羽化 脱出前	1回	加害された枯損木を配置し 本剤を散布し、直ちにビニール 等で密閉し、くん蒸する。	1回
なら (枯損木)			1樹当り {胸高直径 (cm)} × {原液 12～18mℓ}					
しいのき (枯損木)			1樹当り {胸高直径 (cm)} × {原液 12～18mℓ}					

◎薬効・薬害等の注意

- 他剤との混用は避けること。特にクロルピクリンとは激しく反応するので、器具はよく洗浄してから使用すること。
- くん蒸は、日光の当たる場所で行う。
寒冷地又は日陰の場合は、くん蒸期間を長くする。(効果)
- 伐倒木が地面に接しないよう枕木を使用する。(効果)
- 被覆のシート裾は風でめくれぬよう土等でよく押さえる。
- かし・なら・しいのきの枯損木に本剤を注入処理する場合は、以下のとおり行う。
 - 胸高直径 (cm) に胸高直径 1cm 当りの原液使用量 (12～18mℓ) を乗じた値を 1 樹当りの処理量とする。
 - 地際部から高さ 1.5m までの幹に約 10～20cm 間隔で、直径約 1cm、深さ約 2.5～5cm の穴を開け処理する。
- 使用後の器具は十分水洗いする。

◎安全使用上の注意

- 誤飲に注意。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
- 使用中に身体に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受ける。
- 眼に入らないよう注意。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。(刺激性)
- 皮膚に付着しないよう注意。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗う。(刺激性)
- 作業後は直ちに身体を洗い、洗眼・うがいをし、衣服を替える。
- 散布・伐倒木処理時は、保護メガネ、吸収缶(活性炭入り)付き防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用し、保護クリームを使用する。
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
伐倒木処理後のシート除去時にも吸収缶(活性炭入り)付き防護マスクを着用する。
- 作業時はガスに暴露しないよう風向き等を十分考慮する。
- かぶれやすい体質の人は作業しない。施用した作物などに触れない。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯する。
- 開封後は早めに使い切る。(結晶析出の恐れ)
- 夏期高温時の使用をさける。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。

- (13) 移送取扱いは、ていねいに行う。
- (14) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用すること。
- (15) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理すること。

魚毒性……通常の使用法では問題ない。

保管……密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。保存中の少量の析出物は効力に影響はない。